

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年6月21日 (2012.6.21)

【公表番号】特表2011-527286(P2011-527286A)

【公表日】平成23年10月27日 (2011.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-043

【出願番号】特願2011-508667(P2011-508667)

【国際特許分類】

C 0 7 D 471/06 (2006.01)

A 6 1 K 31/4375 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

C 0 7 D 471/16 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 471/06 C S P

A 6 1 K 31/4375

A 6 1 K 31/5377

C 0 7 D 471/16

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 27/06

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 25/02

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 29/02

A 6 1 P 25/06

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/04

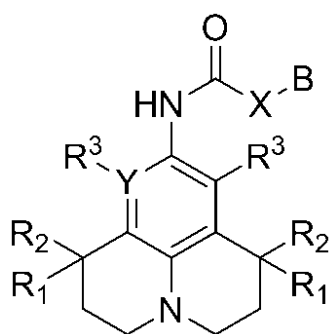
A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 11/06

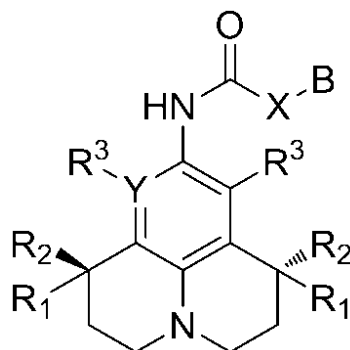
A 6 1 P 17/02

【請求項 1】

【化 1】



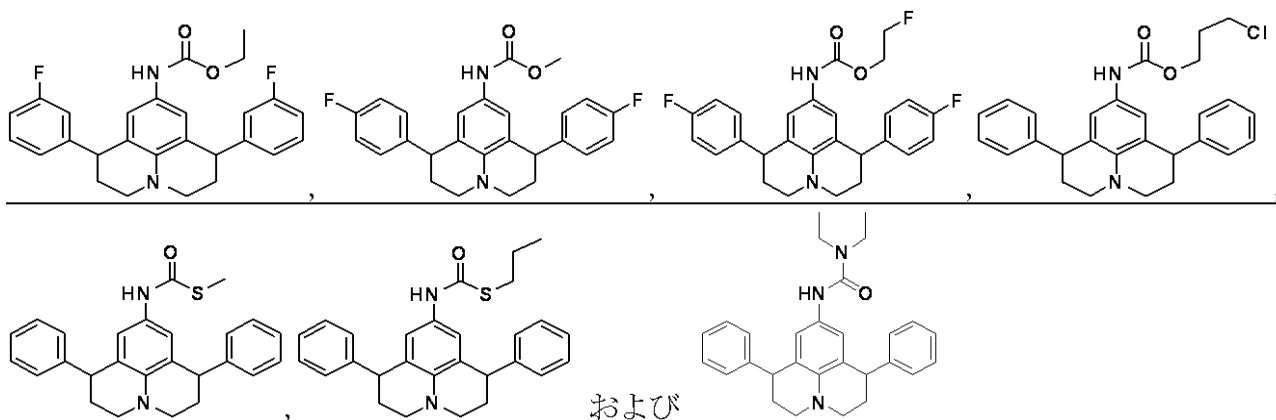
【化 2】



【請求項 4】

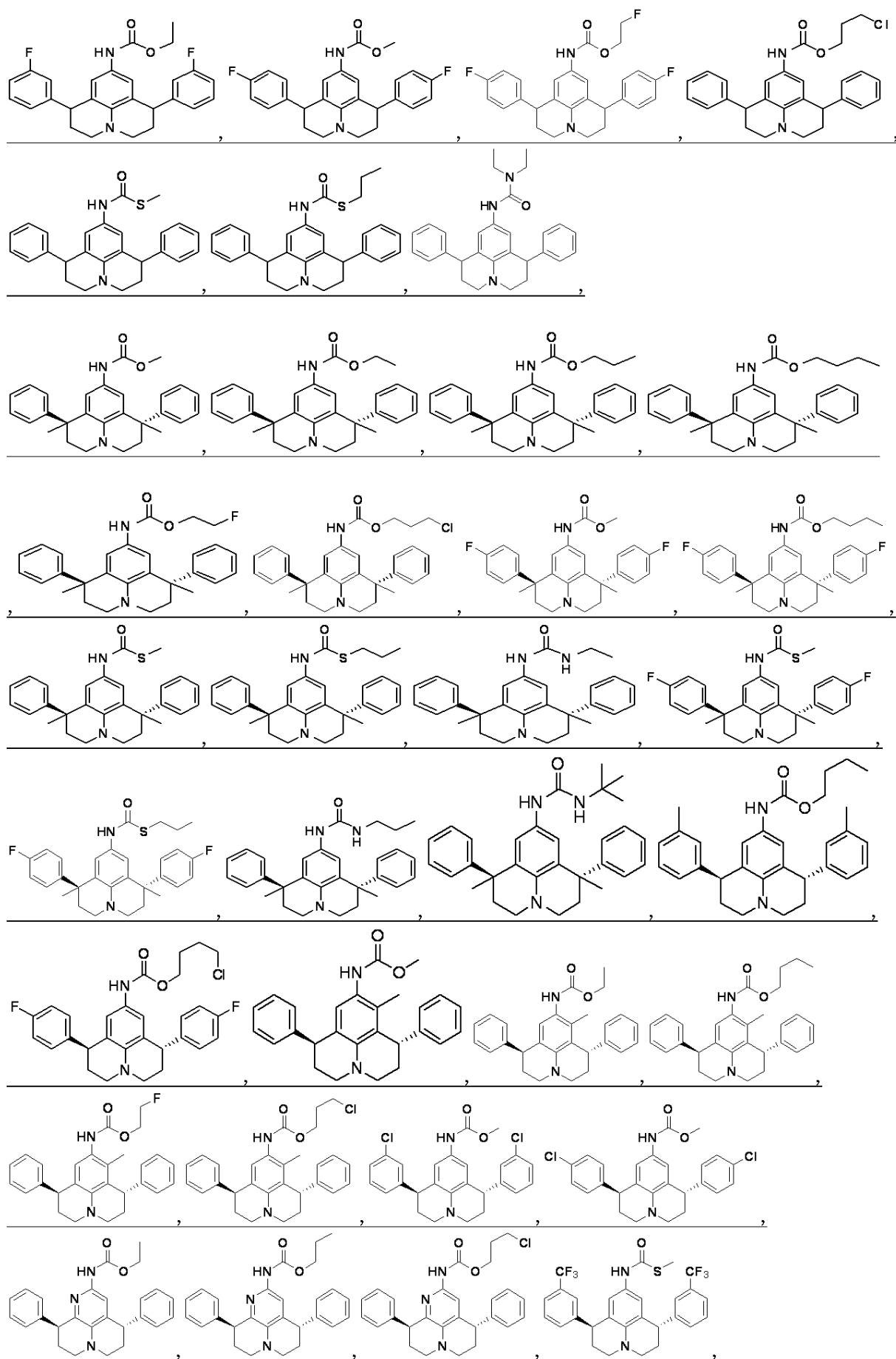
【請求項 5】

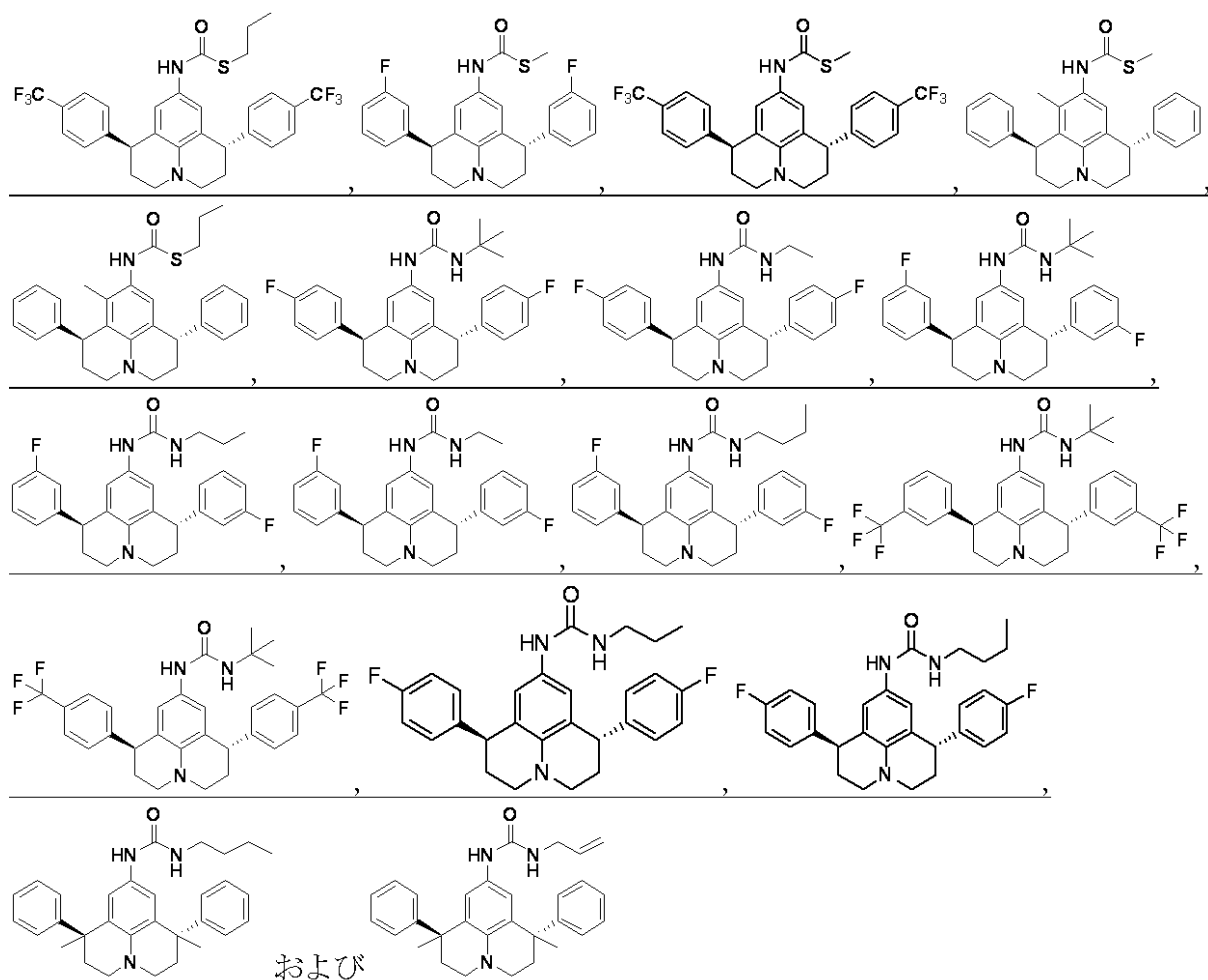
【化 3】



下記化合物からなる群より選ばれる、請求項 1 に記載の化合物:

【化 4】





【請求項 7】

下記の定義を有する、請求項 1 に記載の化合物：

Y が C 又は N であり；

X が酸素であり；

B が C₁₋₆ アルキル又は C₁₋₆ ハロアルキルであり；

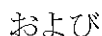
R³ が水素原子又は C₁₋₆ アルキルであり；

R₁ は各々独立に水素原子又は C₁₋₆ アルキルであり；

R₂ は各々独立に置換された又は置換されていないフェニルである。

【請求項 8】

下記化合物からなる群より選ばれる、請求項 7 に記載の化合物：



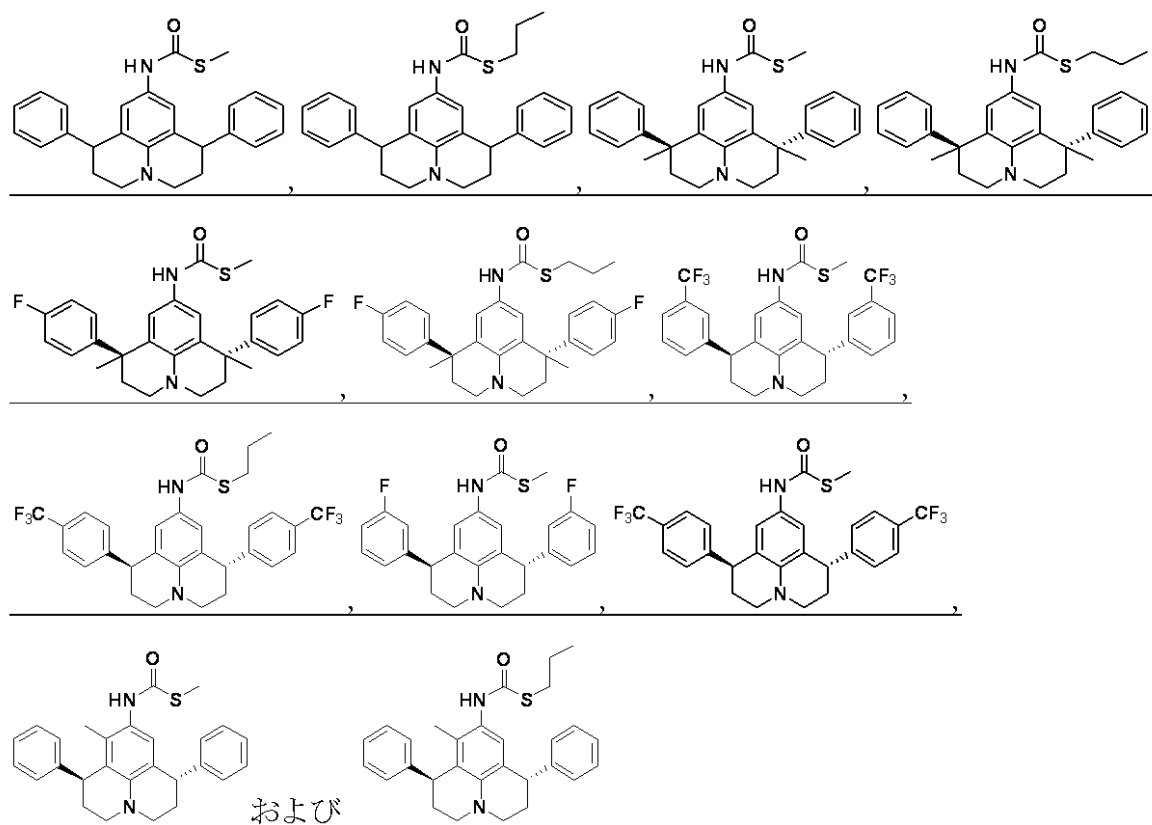
下記定義を有する、請求項 1 に記載の化合物:

Xが硫黄であり；

R^3 が水素原子または C_{1-6} アルキルであり;

R_2 は各々独立に置換された又は置換されていないフェニルである。

下記化合物からなる群より選ばれる、請求項 9 に記載の化合物:



【請求項 1 1】

下記定義を有する、請求項 1 に記載の化合物：

Y が C であり；

X が NR^{N} であり；

R^{N} が水素原子又は C_{1-6} アルキルであり；

B が C_{1-6} アルキル又は C_{1-6} アルケニルであり；

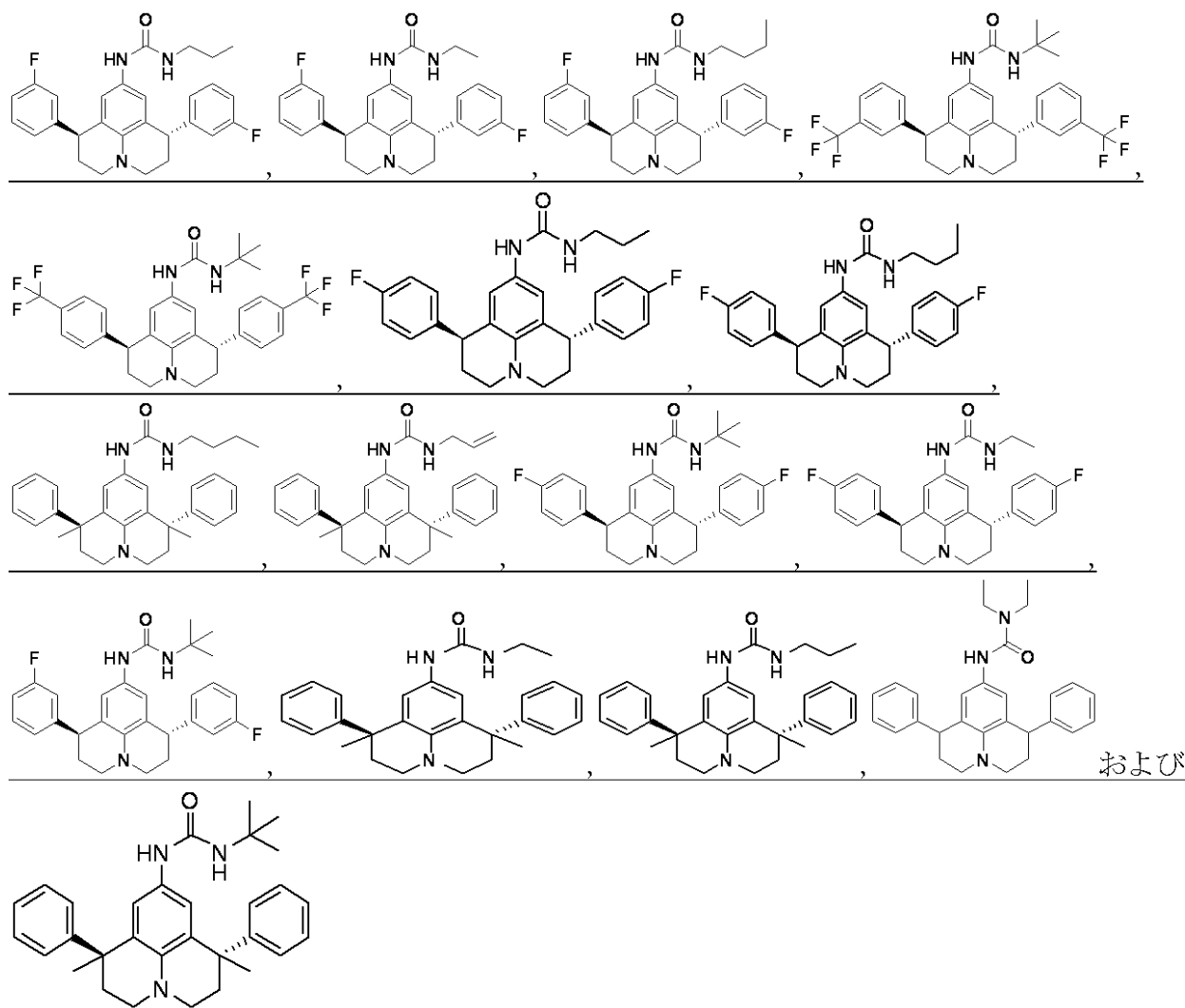
R^3 が水素原子であり；

R_1 が各々独立に水素原子又は C_{1-6} アルキルであり；

R_2 は各々独立に置換された又は置換されていないフェニルである。

【請求項 1 2】

下記化合物からなる群より選ばれる、請求項 1 1 に記載の化合物：



【請求項 1 3】

哺乳動物においてスフィンゴシン-1-ホスフェート3 (S1P3) 受容体によって仲介される疾患又は状態の治療用薬剤の製造における請求項 1 に記載の化合物の使用。

【請求項 1 4】

疾患又は状態が、緑内障、高眼圧、虚血性神経障害、視神経症、疼痛、内臓痛、角膜痛、頭痛、偏頭痛、癌疼痛、背痛、過敏性腸症候群疼痛、筋肉疼痛、糖尿病性神経障害に伴う疼痛、糖尿病性網膜症、網膜変性疾患、ドライアイ、血管形成、未熟児網膜症、糖尿病性網膜症、視神経症、緑内障性網膜症、黄斑変性、脈絡膜血管新生、眼創傷癒合、網膜浮腫、鬱血性心不全、心不整脈、アテローム性動脈硬化症、徐脈、喘息、慢性閉塞性肺疾患、急性肺損傷、急性呼吸困難症候群、特発性肺線維症、人工呼吸器誘発肺損傷、瘢痕のない創傷治癒、瘢痕のない皮膚創傷及び美容的治癒からなる群より選ばれる、請求項 1 3 に記載の使用。

【請求項 1 5】

哺乳動物がヒトである、請求項 1 4 に記載の使用。